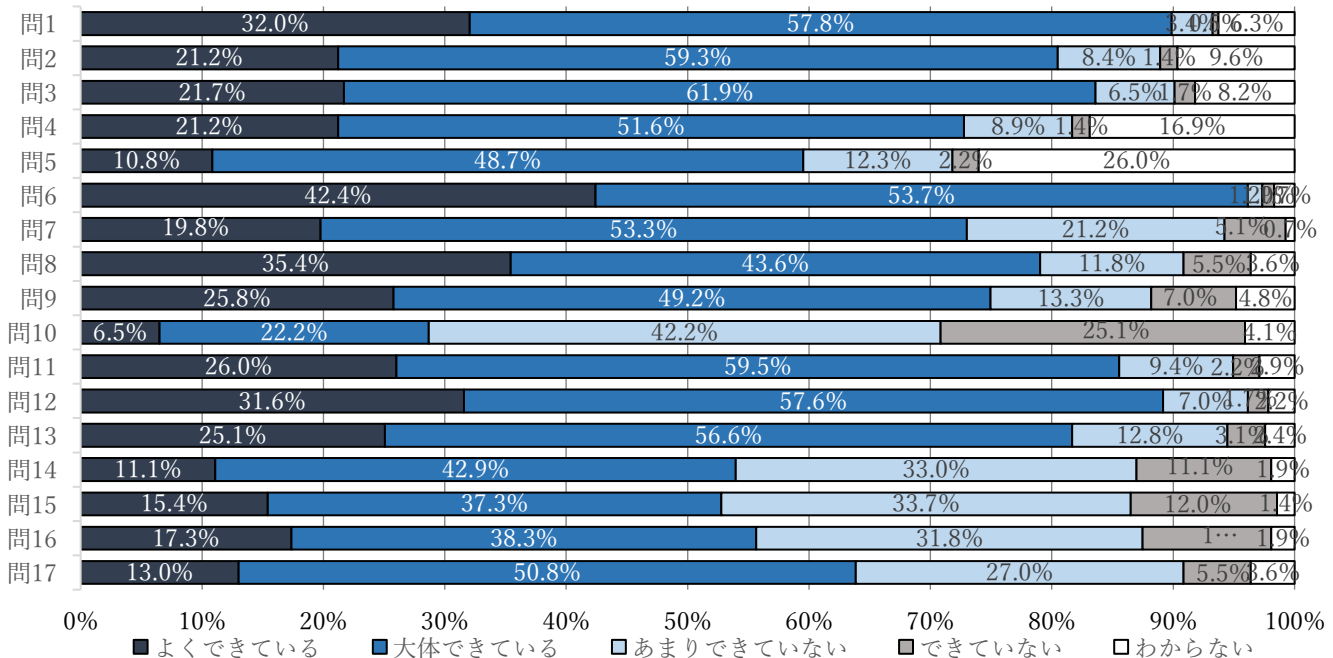


○「学校評価アンケート」 結果 (保護者)

- 問1 子供は、疑問やわからないことについて、自ら調べたり聞いたりして解決しようとしている。
 問2 子供は、学校での学習について、家で話をする。
 問3 子供は、進んで家庭学習に取り組んでいる。
 問4 子供は、ネット利用や時間のルールを守り、タブレットやパソコンなどのICT機器を活用している。
 問5 子供は、家族や地域の人に進んであいさつをしている。
 問6 子供は、学校や社会のルールを守り、時と場に合った行動をとっている。
 問7 子供は、友達や家族に対して、やさしい言葉掛けや思いやりのある行動をとっている。
 問8 子供は、ボランティア活動や地域活動に積極的に参加している。
 問9 子供は、授業や生徒会活動、行事等に意欲的に取り組んでいる。
 問10 子供は、部活動や課外活動に目標を持って取り組み、自己の力を伸ばそうとしている。
 問11 子供は、睡眠や食事など生活習慣を整え、時間を守って生活している。
 問12 子供は、命の大切さを考え、安全に気を付けて生活している。
 問13 学校は、学力が身に付くような分かりやすい授業をしている。
 問14 学校は、子供に向き合う時間を確保し、一人一人を大切に作る姿勢で接している。
 問15 学校は、三者面談や教育相談等を通して、学習や進路、生活等の相談を適切に行っている。
 問16 学校は、ブログやホームページ、たより等で情報をよく発信している。
 問17 学校は、子どもの安全や健康管理のための取組を行っている。(コロナ対策を含む)



コロナ禍の中ですが、制限をしながらも教育活動を進めてきました。スポーツ祭は一部、合唱コンクールは学年ごとに入れ替えを行い、保護者の皆様に来場していただくことができました。しかし、学校の様子を直接ご覧いただくことが十分にできない状況の中で、学校生活や授業の様子がわからず、不安を持っている方が多いことがうかがえました。

問4について、生徒はネット利用のルールやタブレットの活用の自己評価が高く表れていますが、保護者からはやや厳しめの評価がされています。子供自身は利用の仕方や時間を守っていると考えていても周りから見ると時間をかけ過ぎている可能性があります。ネット依存は大きな社会問題でもあり、学校では生徒指導主事を中心にネット依存の弊害について学ぶ講座を開いたり、生徒と共に生活のルール作りを進めてたりしています。問5の挨拶については、コロナ禍で外での元気のよい挨拶がしにくいところですが、校内では3年生を手本に、1・2年生の挨拶もよくできるようになってきました。

問10について、今年度より月曜日の放課後に生徒会活動や学級活動の時間を設けたことで、時間が有効に使えるようになってきました。一方で、部活動の活動時間がもう少しあったほうが良いという意見もありました。大会前の部活や生徒会活動、課外活動のバランスを考えながら、より充実した活動が行えるように改善をしていきます。

学習や人間関係等に悩みを持つ生徒も多くいます。一人一人の生徒に寄り添える学校づくりを全職員で進めていきます。活動の制限が続く中ですが、学校教育目標「心豊かにたくましく生きる生徒」を育てるために、今後も情報発信や教育相談等を通じて、より家庭との連携を図るよう努めます。